

【英語コミュニケーションⅡ】

<学習内容について>

「英語コミュニケーションⅠ」の学習を踏まえ、「聞く」・「読む」・「話す」・「書く」の4つの技能を総合的に学習し、コミュニケーション能力の向上を図ります。教科書で扱う英文、語彙、文法は「英語コミュニケーションⅠ」に比べ、より発展した学習内容になります。

<教材について>

教科書：『All Aboard! English Communication Ⅱ』（東京書籍）

学習書：『All Aboard! English Communication Ⅱ 学習書』（NHK 出版）

<レポートについて>

レポートの回数は、前・後期それぞれ6回です。

[前期]

第1回：Pre-Lesson, Lesson 1 関係代名詞 what

第2回：Lesson 2 比較表現

第3回：Lesson 3 it の用法、文法のまとめ1

第4回：Lesson 4 間接疑問文

第5回：Lesson 5 to 不定詞

第6回：Reading 1、文法のまとめ2

[後期]

第1回：Lesson 6 動詞の目的語になる if 節

第2回：Lesson 7 関係副詞

第3回：Lesson 9 使役動詞（前半）

第4回：Lesson 9 使役動詞（後半）

第5回：Lesson10 分詞構文（前半）

第6回：Lesson10 分詞構文（後半）

<学習の進め方について>

学習書をよく読んで内容を理解し、レポートを仕上げましょう。QRコードを読み取ると、リスニングができるので活用しましょう。わからないところは質問しましょう。

<スクーリングについて>

半期で9時間の出席が必要です。教科書・学習書・筆記用具を必ず持ってきて下さい。

状況に応じて簡単なコミュニケーション活動も取り入れていきたいと思います。

半期に一回、ALT（外国人）とのティームティーチングを予定しています。

<評価について>

評価は、試験成績と平常点（レポートの成績）を以下の観点をもとに総合して 100 点法で行い、30 点以上を合格とする。

[知識・技能]

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めようとしている。またそれらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けようとしている。

[思考・判断・表現]

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとしている。

[主体的に学習に取り組む態度]

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。